

令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立雑賀小学校

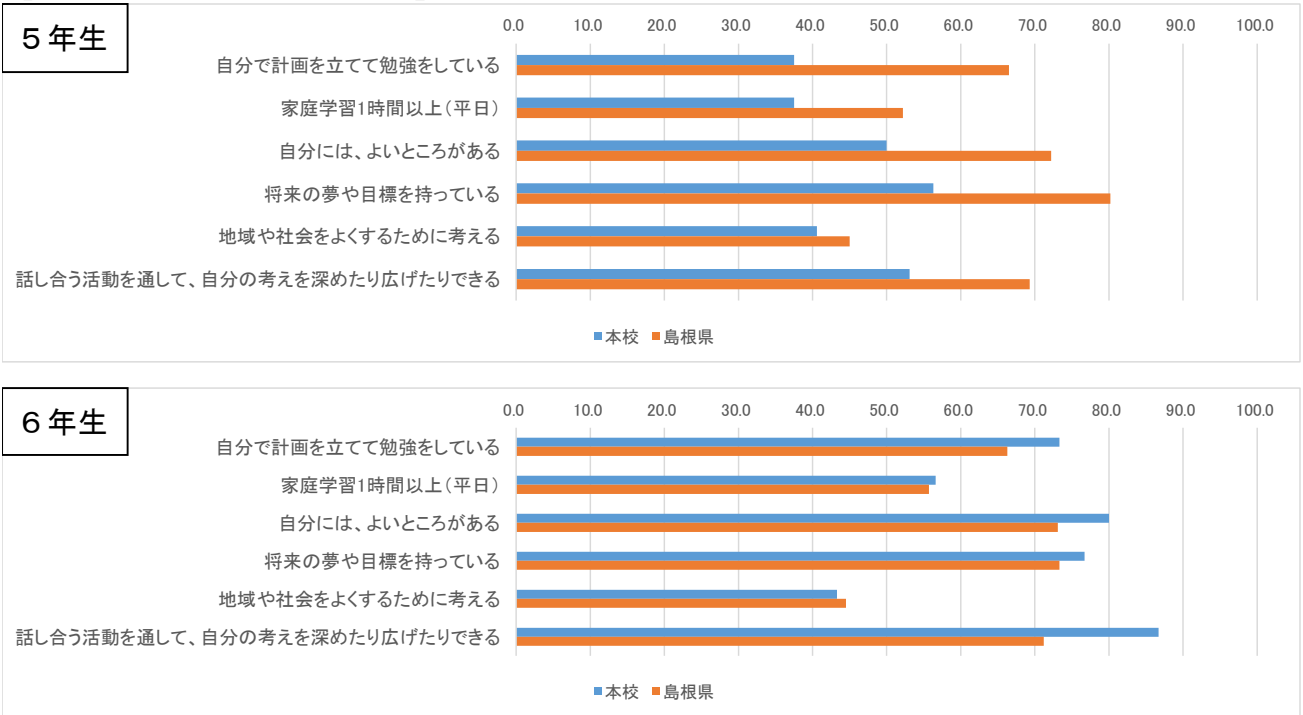
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	○話合いの内容を聞き取る問題の正答率は県平均以上であった。 ○物語や説明文の内容を読み取る力が付いている。 ●書くことについて課題が見られた。特に、情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を書くことについての設問の正答率が低かった。	○漢字や言葉などの基本的な学習事項はおおむね定着している。 ○物語の内容を読み取る力が付いている。 ●書くことについて課題が見られた。与えられた条件に沿って文章を書く設問に弱さが見られる。また、無回答率も高い傾向がある。
算数	○小数のかけ算、割り算や分数の足し算、引き算についておおむね定着している。 ●図形領域での課題が見られる。特に、立方体の体積を求める式の理解や直方体を組み合わせた形の体積を求める問題での正答率が低かった ●平均を使った問題への弱さが見られた。	○全体としては県平均を上回りおおむね良好である。 ○図形領域の正答率が、県平均より高く、力がついてきている。 ●分数の割り算の方法を記述で説明する設問での正答率が低かった。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	○本を読んでいると答えた児童が県平均より多い。 ●家庭学習について課題がある。家庭学習の時間が1時間未満の児童が多い。また、自分で計画を立てて学習することが難しい児童が多い。	○自分で計画を立てて勉強をしていると回答する児童の割合が高くなっている。 ○食事や睡眠、1日当たりのメディア接触（ゲーム、動画視聴）の時間などの基本的な生活習慣が身に付いている児童が多い。 ●学習でのICT機器の利用についての頻度が県平均よりも少ない。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】

5年生

32

名

6年生

30

名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)